

# 1年生を迎える会

くわいらしい1年生を温かく迎えよう

市渡小学校

4月15日(土)に、「1年生を迎える会」を実施しました。コロナ禍では、学年を分けて前半・後半と二部制にし、Zoom(ビデオ会議システム)を使うなどして分散で行いましたが、4年ぶりに、全学年が体育館に集まって開催することができました。

新学期がスタートして1週間ほどの、短い準備期間の中でしたが、1年生に喜んでもらうため、各学年が趣向を凝らした楽しい発表をしました。

2年生は、ダンスを披露しました。「ジャンボリミッキー」の軽快な音楽に合わせて、リズムカルにゆかいな振り付けで踊りを発表しました。

3年生は、市渡小学校の校歌を紹介しました。1番から3番までの歌詞に合わせて、手話を交えながら元気に歌いました。校歌を歌った後は、1年生に早く覚えてもらえるように、歌詞にまつわるクイズを出しました。

4・5年生は、劇を発表しました。市渡小学校の校庭には、栗の木があり、秋にはたくさんの実をつけます。そこで、

昔話の「桃太郎」をヒントに「栗太郎」というお話を考えて、市渡小学校の特色をよく表した劇にしました。コミカルな場面が多くあり、1年生の楽しそうな笑顔をたくさん見ることができました。

6年生は、劇仕立ての歌と踊りの発表をしました。「あたりまえ体操」の音楽に合わせて「あたりまえ市小」と、市渡小学校をよく知り、学校のきまりやルールがわかるように内容を工夫しました。

最後は、1年生の発表です。小さな体を目いっぱい使い、2～6年生へ感謝の気持ちを込めて、ユニークな振り付けをしながらお礼のメッセージを贈りました。今年までの約3年間、感染症対策により、多くの制約の中で学校生活を送ってきましたが、ようやく本来の活動ができるようになりつつあります。

これからも、市渡小学校らしさを大切にしながら、一つ一つの行事を通して、主体的に学ぶ子どもを育て教育を推進していきたいと考えています。

(市渡小学校 教諭 塚原 智子)

2年生の発表



3年生の発表



4・5年生の発表



1年生の発表

6年生の発表

